

小田川っ子



平成28年度
白河市立小田川小学校
平成28年11月11日(金)
第28号(121号)
発行者 校長 小檜山 健

子ども見守り隊の方々を招いて「ふれあい給食」 「たのしい学校」

「新 子ども見守り隊」が立ち上がって、2か月が経ちました。各自治会の見守り隊の皆様方の献身的な活動により、子どもたちが毎日安心して登下校ができますことに、心より御礼申し上げます。

9月の発足時には、「できる範囲での活動を」とお願いしたところでしたが、自治会の見守り隊の方が、見守りの方法をいろいろと工夫してくださって、下記のような方法で活動を展開してくださっています。

- 地区にいる5人の見守り隊の方々が、曜日ごとに分担して、子どもたちを見守って行く方法
- 萱根地区や東部ニュータウンの見守り隊の方々は、4号線の歩道橋付近まで連れてきた後、その後は、泉田の見守り隊の方に子どもたちを引継ぎ、泉田の方々が学校まで連れてくるなど、自治会間の連携プレーを図りながら見守って行く方法
- 自転車を引いて子どもたちの登校に付き添い、帰りは自転車に乗って自宅に戻る方法

そこで、感謝の気持ちを伝えることと、子どもたちとの交流を深めることを目的に「ふれあい給食」を、10月に実施しました。会では、3年生が「感謝の言葉」を述べた後、自治会ごとに分かれたテーブルに、各地区の見守り隊の方をお招きし、お話ししながら一緒に給食をいただきました。また、4年生が「見守り隊 復活」と題した作文を読み上げ、感謝の気持ちを伝えました。



児童と会話しながら給食を楽しむ見守り隊員

見守り隊 再結成に感謝

隊員招き ふれあい給食会

小田川小の児童

白河市の小田川小は十二日、子ども見守り隊の隊員を招いたふれあい給食会を食堂で開いた。九月に見守り隊が約三十人で再結成されたのを機に、児童が日ごろの感謝を伝えながら交流しようと初めて開いた。児童代表の

(三年)が

「毎日来てくれて安心です。これからもよろしくお願いします」と感謝の言葉を述べた。児童七十六人が地区ごとに分かれ、見守り隊の十三人が担当する児童の席と一緒に座って給食を食べた。児童の祖父母らと知り合いの隊員もいるなど会話が弾んでいた。

給食で交流深める

白河 小田川小と子ども見守り隊



交流を深めた児童と参加者

白河市の小田川小は十二日、同校周辺地域で活動する「子ども見守り隊」を招き、ふれあい給食を開いた。児童と隊員が一緒に食事をしながら交流を深めた。全校児童約70人と同隊員約10人が参加。……さ

ん(6年)が進行を担当し、(7年)が進行を担当し、(8年)が進行を担当した。同隊の(74)は活動の励みになる。継続して地域の安全・安心を守りたい」と感想を述べた。

<10月15日付 福島民友より>

<10月14日付 福島民報より>

「小田川小子ども見守り隊」復活

小田川小学校 四年

平成二十八年九月二日、わたしたち小田川小学校の「子ども見守り隊」が復活しました。

前日の給食の時間に、教頭先生から、

「明日、下校の前に、子ども見守り隊の方たちとの顔合わせ会があります。」

と連らくがありました。わたしは、その話を聞いて、今までは子ども見守り隊はなかったのにどうしたんだろうなと思いました。

次の日、全校生がホールに集まると、見守り隊の方々が方部ごとに入ってきて来ました。わたしの方部には、いつも散歩をしているおじいさんやおばあさん、そして、わたしのおじいちゃんもいました。みんな、黄色いぼうしをかぶり、服の上に黄色いベストを着ていました。そのベストの後ろには、「小田川小子ども見守り隊」と書かれていて、とてもかっこよかったです。校長先生もベストを着ていて、みんな

